

九州がんセンター外来タイムス 3月号

No.6

国立病院機構九州がんセンター

平成28年3月1日発行

(2ヶ月に一度発行します。)

九州がんセンター外来タイムスについて

・当院では、広報活動のひとつとして外来などに来院された患者さん、ご家族の皆様幅広く当院の情報や医療の情報などについてお知らせするため、本誌を発刊いたしております。

お気軽にお取りいただき、御拝読いただければと考えております。



新病院がオープンいたしました！

・患者・家族の皆様へ、本年3月1日をもちまして新病院の外来がオープンいたしました。

新年号でも少し病院の特徴をご紹介いたしましたが、本日はもう少し詳しくご紹介させていただきます。

入り口を入られますと、総合案内でコンシェルジュがご案内いたします。病院の案内や設備の点など何でも良いので遠慮無くお尋ねください。

病院の設計の方針として、明るく広い空間のご提供ということから、天井を高く中庭を5つ設置しており、中庭の石にはハート型の石があります。見つけてみてください。

売店や食堂の機能も充実され、焼きたてのパンや入れ立てのコーヒーを召し上がることができます。

また、患者家族の皆様への支援として、相談支援センターを拡張して設置いたしております。

特に、患者家族図書室には福岡市図書館から定期的に1000冊程度の蔵書が送られてきます。

お待合の時間に図書室を覗かれては如何でしょうか。

病院の壁面にもご注目ください、寄贈して頂いた素晴らしい絵画が皆さんをお待ちしております。

患者家族相談支援センター前の壁面の絵画は、鹿児島や福岡市のホテルでも展示されていたものであり、3枚の絵で太鼓祭りを表現しています。是非ご覧ください。



【外来のホスピタルモール】



【病院の中庭から】

ひな祭りについて

今回はひな祭りについて述べさせていただきます。

女の子の健やかな成長を願い、美しいひな人形を飾りお祝いをする、日本の古くから伝わる伝統行事です。もともとは、女の子のお祭りでは無く、邪気が入りやすいといわれる季節に「穢れ」を祓うための儀式だったようです。遣唐使によって伝えられた、禊ぎの神事に繋がるともいわれています。

現代のように華やかなお祭りとなるのは、江戸時代だといわれているようです。徳川幕府によって、「五節句」の一つとして定められ、「人日の節句（1月7日）」、「上巳の節句（3月3日）」、「端午の節句（5月5日）」、「七夕の節句（7月7日）」、「重陽の節句（9月9日）」と並ぶ宮中行事となりました。

もともとは、穢れを移すための身代わり人形を川へ流すものだったのですが、流すものから飾るものへと変わっていったようです。

江戸時代以降、ひな人形はその家の財力を示す象徴として華やかさを増していきました。

最初は「内裏びな」だけだったものが、二段、三段と豪華なひな壇へと変わっていったようです。



頭の体操コーナー

•ここからは頭の体操を行うコーナーです、新年早々ですが是非参加してみてください。

(初級編)

- 1、古くなるほど若くなるものって何？
- 2、ラクダとカメラとサイが、買い物をしています。何を買うのでしょうか？
- 3、夫婦別姓が認められても、「旦那さんの姓を名のる」という動物は何？

(中級編)

- 1、女の人にピッタリくっついてがる王様って、どんな王様？
- 2、家の中で怖い話をするのはどこ？
- 3、「カマカマカマカマカ」この言葉を残した人物はどこに行ったのでしょうか？

•初級編、中級編と回答できましたでしょうか。

回答は本誌の下の方にありますのでご覧ください。

解答(初級編1 写真、2 カメラください、3、オットセイ)

(中級編1 ストッキング、2 かいだん(怪談)、3 鹿児島(かが5、まが4))